

# 木もれ陽

文責 平川 千秋

## 「学習課題」を配付しました

5月11日、休校延長を受けて新たな学習課題の配付を行いました。本来なら新学期から使用する予定だった教材、休校期間3週間分の課題、学習の進め方や学習支援日の予定表等を職員が一人分ずつ袋詰めをして、1・2年生は昇降口前、3年生は各教室で配付しました。マチコミメールとHPのみの連絡だったにもかかわらず、ほとんどの生徒が登校し、11日中に全生徒に課題を渡すことができました。ご協力ありがとうございました。



各学級、出席番号順に10分間隔で登校時間を指定し、ソーシャルディスタンスを十分に確保した上での配付を心がけましたが、皆さんのおかげで実にスムーズに実施できました。

当日は天候にも恵まれ、五月の心地よい風を受けながらの本年度4回目（1年生は3回目）の登校となりました。冬服・夏服・長袖・半袖、各自が選んだ制服での久しぶりの登校でしたが、どんな気分になりましたか。通学鞆に課題をどっさり詰め込んだ、たった5、6分の学校滞在時間でしたが、未だかつてない、なかなか珍しい経験になったはずです。

校門前で横断歩道を渡る様子を見守る職員、出席者の名前と検温・健康状態を確認する職員、翌日からの学習支援について説明する職員、袋に入れた課題を渡す職員……、先生方はひと月ぶりに生徒の皆さんと会うことができ、直接その顔を見ることができて、元気をもらい、幸せな気分になったと語っていました。

「健康ですか?」「はい。」「ストレスはたまっていませんか?」「大丈夫です。」そんな短いやりとりですら、電話越しの応対とはまた違った安心感に繋がり、学校は生徒の皆さんがいてこそその学校だと改めて感じました。

この先、いつから以前のような平常登校に戻れるのか、しばらく特別な登校の状況が続くのか、今の時点ではまだわかりません。でも、“不要不急の外出を控えること”、“密閉・密集・密接を避けること”、“マスクを着用すること”、“うがい手洗いを励行すること”等は暫く継続する必要があります。家庭で勉強の進め方がわからず不安になったり、家族以外の意見を知りたくなったり、先生に相談してみようと思った際には、学校に気軽に連絡してください。学級ごとに設定されている学習支援日もぜひ有効活用してください。